

1 堀削後の地盤

地下水が湧き出て施工困難な状況。



2 下部地盤確認

現況地盤の状態を確認する



3 D・BOX 敷設

水中ポンプを使いある程度の水を排水した後、作業足場を確保する為、土木シートを敷設。その後重機を使いD・BOX - LS150 を敷設。





4 D・BOX - LS150 の敷設状況

重機で吊り込み、軟弱地盤面に直接敷設（中詰材は C40-0）



5 転圧

敷設後直ちにジャンピングランマーによる転圧を行う。



6 D・BOX 敷設完了時の様子（敷設作業は半日で完了）



7 2週間程経過した後、躯体工事を行う。

施工中（施工後も）の沈下はまったく起こらなかった。